



2013年10月14日

【御礼】

リコー社会貢献クラブ・FreeWiII 御中、社員の皆様へ
一般財団法人 神奈川県建築安全協会 御中、協会の皆様へ
富士ゼロックス神奈川株式会社 端数倶楽部 御中、社員の皆様へ
ご寄付、ご支援を頂きました全ての福島応援の皆様へ

かながわ「福島応援」プロジェクト

拝啓

この度は、かながわ「福島応援」プロジェクトにご支援を頂き、誠にありがとうございました。
私達は、

1. 直接活動（福島に直接行き、街中掃除、避難されている方のお手伝いなど）
2. 県内活動（神奈川県に避難されています方の交流会、お手伝いなど）
3. 情報発信（福島での活動、福島の観光情報・温泉情報・果物情報などなど）

の三つを柱として活動を続けています。

御社様、皆様からのご支援金は、

- ・福島を応援する多くの皆さんの現地へのバス運営費
 - ・神奈川県内及び近隣関東圏に避難されています方々の神奈川県内での交流会などの応援費
- として活用をさせて頂いています。

そして、福島への応援を想う方々と、長く、地道に活動を続けることが出来る力となっています。
御社様、皆様の想いに心より感謝申し上げます。

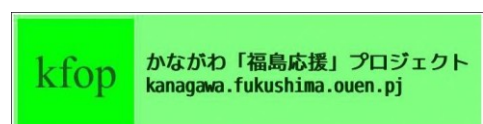
福島はこれからも長くお手伝いが必要です。私達は今までも、今後も、この先も一緒に応援・お手伝いをさせて頂きたい想う参加者と共に活動を続けて行きます。

皆様に長くご支援を頂けましたら幸いです。今後ともよろしく願いを申し上げます。

敬具

かながわ「福島応援」プロジェクト（kfop：ケフォップ）

代表 渡辺孝彦



【報告1】情報発信（花見山公園・東北六魂祭）

4月20日（土）福島市の『花見山公園』を訪れました。写真家の故秋山庄太郎さんが「福島に桃源郷あり」と言われた「花見山」です。原発事後2年が経過、そして今年再び開放されることになりました。

花はどんな自然災害にあっても、春ともなれば美しい花を咲かせて私たちを癒してくれます。そう教えてくれる花に負けないで、この度の東日本大震災も乗り越えて、私たちの人生社会に立ちあがって頂きたいと心から願っております。園主の言葉です。年中を通して開放されています。一度訪れてみてください。



（花見山公園から臨む福島市内）



（東北六根際、ブルーインパルス）

また、5月1日、2日と同じく福島で『東北六魂際』が開催されました。多くの人で福島も賑わったとのこと。福島市の出し物は「大わらじ祭り」です。初日には宮城県よりブルーインパルスがやって来てくれました。青い空に線を描いて。私達も2011年に宮城県の東松島飛行場の近くで活動をさせていただきました。水蒸気の霧で一面何も見えなかったのを覚えています。福島、花見所、温泉、果物など色々、是非皆さんも一度足を運んでみてください。

【報告2】直接活動（福島便、南相馬便）

5月～9月は毎月1便（福島14便～18便）、9月に（福特2便、3便）を出させて顶きました。バスは横浜のバス会社さん。参加者は老若男女・初めて福島に足を運ばれる方も含めて各便20名程です。横浜駅の西口から金曜の22:00に出発し、途中佐野SAに立ち寄り安達太良SAで仮眠をとります。当会のバスの利点その1（朝に安達太良山を臨める、智恵子抄の里です）、その2（出来たての美味しいパンを朝食に食べることが出来る）、です。



（福島18便、花に願いを6号）



（安達太良SAから臨む安達太良山とパン）

朝に山を臨み、美味しパンを食べ、集合写真を撮ります。そして、朝7時半頃に活動場所に向けて安達太良SAを出発します。東北自動車道路を通過しては分かりませんが二本松ICで降りて一般道で福島市内に向かうと二本松市、安達町、松川町を通って行く傍ら応急仮設住宅が多くあります。駅・町からも離れていて不便に感じます。夏には木陰で暑さをしのいでお話をされている様子もありました。

福島便の活動は街中掃除（ホットスポットの掃除）です。当会も計測器及び積算計を保有し、また受け入れ先よりもお借りし携帯し活動を行います。積算値は参加者へ伝えると共に活動の様子にも掲載をさせて頂いています。作業場所は街中です。普通に皆さんが通う道路でもあり、子供さん達の通学路でもあります。とても地道にポイントを確認し、地道にその掃除をして行きます。マイナスドライバー・金ブラシ・ミニほうき・ミニスコップで丁寧に計測器し確認しながら掃除をして行きます。その結果は数値で見えます。



(福島便、作業の様子)



(南相馬便、作業の様子)

南相馬便の活動は現地のニーズにより様々かと思えます。瓦礫作業、家財の片づけ作業、敷地に生い茂った草の刈取りなど、活動の場所は南相馬市の小高地区近辺です。2011年4月に日中の立ち入りが可能となりましたが、その時とほとんど変わってはいません。初めて目にする方は報道では良く言われていますが『時間が止まっている』その言葉の意味が分かると思います。下水などのインフラはまだまだです。手入れが出来ないので草が生い茂り、木の幹も太くなり伐木も必要に。なぜなぜです。

【報告3】県内支援（お茶っこ町別交流会、ふるさとバス、ふるさとコミュニティinかながわ）

昨年からは継続して活動しています。神奈川県内には約2千5百人の方が避難されています。「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共に民間活動として、お茶っこ、町別交流会、ふるさとバス、ふるさとコミュニティinかながわを開催して来ています。避難されています方々主体的にいきいきとした笑顔とコミュニティを取り戻して頂きたく“小さなお手伝い”をさせて頂いています。9月14日（土）に第3回「ふるさとコミュニティinかながわ」を開催しました。



(避難されている方々の出展作品です)

【最後に】現地活動での参加者の声（一部紹介、参加者の主観です）。

- 【福島14便】ボランティアです、と話したら「ありがとう！」と言ってもらえて嬉しかった。
- 【福島15便】皆さんにご挨拶の声を掛けて頂いた。受入れて頂いている、そんな感じがした。
- 【福島16便】町内会で活動したことで理解されるようになったと思う。
- 【福島17便】参加させて頂いて生活に密着したとても地道な活動だと知りました。
- 【福特 2便】1年前と同じ状況、時間が止まっている、出来ることは続けたい。
- 【福島18便】福島に関心がある方は参加してみると今後の為になる活動だと思いました。
- 【福特 3便】福島の人はずっと怒っても、実態を伝えるべき、みんなが発信すべき。

10月以降も継続的に活動をして行きます。来年度も継続して行きます。

【参考：ボランティアバス】

2013. 04. 20 【福島 1 3 便】



2013. 05. 18 【福島 1 4 便】



2013. 06. 22 【福島 1 5 便】



2013. 07. 20 【福島 1 6 便】



2013. 07. 28 【西伊豆 1 便】



2013. 08. 24 【福島 1 7 便】



2013. 09. 07 【福特 2 便】



2013. 09. 14 【福島 1 8 便】



2013. 09. 28 【福特 3 便】



2013. 11. 16 【福島 2 0 便】

